

#### 4. 4. 関連専門業務

<b>関連専門業務 ①教育プロジェクト支援業務</b>
業績指標
以下の条件の実績と経験を有する。
<b>①責任性</b> <input type="checkbox"/> 主担当として対応した。
<b>②複雑性</b> 以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 教育プロジェクトの構想立案のため、学内関係者・他大学・企業と連携して、教育方針の策定、プロジェクトの構成、カリキュラムの作成支援、交流イベントの計画立案、予算計画立案等を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 教育プロジェクト関連分野における所属大学のファクトデータ(教員、研究内容、論文、広報記事等)の収集を行い、プロジェクト構想立案のためのデータベースを作成した。 <input type="checkbox"/> 3. 教育プロジェクト申請書、学内向け各種説明資料及び FA ヒアリング向け資料の作成を支援し、プロジェクト採択に貢献できた。 <input type="checkbox"/> 4. 当該教育プロジェクトに採択する学生の選抜・評価の支援を行った。 <input type="checkbox"/> 5. 大学本部の担当部署(国際本部等)と連携のもと、海外の大学との学術協定締結に向けた支援を行った。 <input type="checkbox"/> 6. 国内外企業へのインターンシップの実施につき、各対象機関との事前調整、実施期間中の支援、事後の報告会のアレンジ等を行い、成功裏に終了した。 <input type="checkbox"/> 7. 海外の大学との学生交流イベントを企画し、学生の受入準備、滞在期間中のスケジュール管理、見学ツアーの手配等を行い、成功裏に終了した。 <input type="checkbox"/> 8. 学生の学外活動(社会貢献を含む)を企画・提案し、その成果の広報活動も含め成功裏に終了した。 <input type="checkbox"/> 9. 短期留学の学生の派遣／受入につき、必要な手続きや資料の作成を、大学本部の担当部署(国際本部等)と連携して行った。 <input type="checkbox"/> 10. 講義等のために学内外教員の招へい・派遣の交渉を行った。 <input type="checkbox"/> 11. 教育プロジェクト内の担当者連絡会議を定期的に開催し、進捗状況の確認や課題の整理につき、情報を共有し、プロジェクトの円滑な進行に貢献できた。 <input type="checkbox"/> 12. 教育プロジェクトのアウトリーチ活動として、パンフレット・ポスターの作成やホームページの作成支援を行った。 <input type="checkbox"/> 13. 教育プロジェクトにおける予算執行状況の管理を行い、参画メンバーと情報を共有すると共に、FA の検査に適切に対応することができた。 <input type="checkbox"/> 14. 教育プロジェクトの外部評価への対応として、会場の手配、アジェンダの調整、プレゼンテーション資料の作成支援等を行い、評価委員に実施内容を十分に理解してもらうことができた。
<b>③重要性</b> 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 学外関係者との折衝活動の結果、関係者間の合意形成、対応方針の共有が円滑に進み、調整業務が短縮された。 <input type="checkbox"/> 2. 教育プロジェクトへの学外からの関心が高まり、外部との交流が活発化し、その結果、短期留学やインターンシップでの学生の派遣／受入件数が増加した。 <input type="checkbox"/> 3. 外部評価委員会から高い評価を受け、後継プロジェクトを承認されるに至った。 <input type="checkbox"/> 4. 教育プロジェクトの活性化の過程において、学内規定の変更が進み、学生の大学間の移動がよりやりやすくなり、全体のレベルアップにもつながった。
<b>④学内外貢献</b> 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 国内外の大学と連携・協働し、学外ネットワーク構築に貢献した。 <input type="checkbox"/> 3. 広報イベントの企画・立案、パンフレットやポスターの作成等プロジェクトのアウトリーチ活動に貢献した。 <input type="checkbox"/> 4. 自己の業務内容のマニュアル化を行った。
<b>⑤その他</b>

## 業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

### ①事業

- 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。
- 2. 担当業務に関連する主要な教育プロジェクトの方針(ポリシー)を理解している。

### ②知識

- 1. 国の教育に関する施策要綱を理解している。
- 2. 教育プロジェクトに関連する大学(他大学も含む)、研究コミュニティ、科学技術政策の中心テーマ、政府・学会のロードマップ等の今後の重点科学技術分野を概略理解している。又は、調査し、把握することができる。
- 3. 所属大学の教務規定、学生受入に関する学内規定、事務手続きの流れ等を理解している。
- 4. 所属大学の大学院科目、該当科目の教員、シラバス等に関する情報を把握している。
- 5. 所属大学の教育の評価基準(修了要件、単位取得等)を理解している。
- 6. 学外研究者を受け入れる際のスキーム、規定、契約事項等を理解している。
- 7. 学内のハラスメント関連規則を理解している。
- 8. 外部資金に関わる遵守すべき法律(例:補助金適正化法)、規則、契約内容等を理解している。

### ③実務

- 1. 教育に関する連携支援業務の実務(例:教育研究拠点形成や連合大学院設置等、大学院教育を主とした連携支援等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 学外関係機関との交渉、調整等の作業の進め方等を理解している。
- 4. 関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ、会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 全体のスケジュールとその進捗を把握して内外関係者と共有し、期限内に業務を終わらせられるよう、内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 学内の学務、教務に関する手続きを担当事務部門と協調して支援することができる。
- 7. 学生の受入/派遣に関する手続きを担当事務部門と協調して支援することができる。
- 8. 研究者、あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合、関係者に報告・相談し、適切な対応ができる。

### ④語学

- 1. 関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。
- 2. 各種問い合わせや協定・プロジェクトの調整について、メールでやり取りができる。

### ⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者、FA、企業、関係省庁、海外機関等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則、実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て、連携し、協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し、対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

### ⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

関連専門業務 ②国際連携支援業務	
業績指標	
以下の条件の実績と経験を有する。	
①責任性	<input type="checkbox"/> 主担当として対応した。
②複雑性	<p>以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。</p> <input type="checkbox"/> 1. 所属大学・研究者の専門分野・研究シーズにつき、マッピングを行い、論文情報のリストアップ等データベース化を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 海外企業のニーズ情報や問合わせに対応し、関連する組織・研究者との情報交換の場をアレンジし、その後の共同研究へとつながった。 <input type="checkbox"/> 3. 所属大学・研究者の研究シーズを大手海外企業本社や日本事務所に情報提供した。 <input type="checkbox"/> 4. 海外企業との共同研究契約に際し、研究計画、研究費、知財を含む秘密情報の取り扱い等について、研究者及び学内担当部署との調整を行い、契約締結に向けた支援を行った。 <input type="checkbox"/> 5. 海外企業との共同研究において、プレスリリースや契約更新手続き等について、研究者及び学内担当部署との調整を行った。 <input type="checkbox"/> 6. 海外の研究助成制度について情報を収集し、適宜学内研究者へ情報提供を行った。 <input type="checkbox"/> 7. 海外の研究助成制度について、申請を支援して、研究費獲得に至った。 <input type="checkbox"/> 8. 海外の大学との国際交流事業の企画・立案のため、国内外の大学から研究者を招集してワークショップを複数回開催し、学内のキーマンとなる研究者と連携して、交流プロジェクトの素案作りを行い、他大学からプロジェクト参画へのコミットメントを得ることができた。 <input type="checkbox"/> 9. 海外の大学との国際交流事業へ応募すべく、大学本部の担当部署(国際本部等)と連携して調整を進め、学内承認を得ることができた。 <input type="checkbox"/> 10. 交流プログラムにおける学生及び研究者の相互派遣のため、単位互換、派遣／受入等、大学本部の担当部署(国際本部等)と連携して調整を進め、準備を整えることができた。 <input type="checkbox"/> 11. 大学本部の担当部署(国際本部等)と連携のもと、海外の大学との学術協定締結に向けた支援を行った。 <input type="checkbox"/> 12. 海外からの研究者受入及びその家族も含めた生活環境整備(住居、子弟教育等)について、学内調整を行った。 <input type="checkbox"/> 13. 海外からの招聘者につき、受入調整を行った。 <input type="checkbox"/> 14. 世界的にレベルの高い研究体制を作るために、学内規定の策定及び改定等のための交渉を行い、研究者の派遣／受入がスムーズに行えるようになった。 <input type="checkbox"/> 15. 研究アクティビティーの活性化のために、海外数か所にサテライトラボを設置し、当該ラボでの研究者の雇用等を可能にした。
③重要性	<p>以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <input type="checkbox"/> 1. 外部との折衝活動の結果、関係者間の合意形成、対応方針の共有が円滑に進み、調整業務が短縮された。 <input type="checkbox"/> 2. 海外の企業や大学との連携による国際コンソーシアムが設立され、研究活動や人材育成において、交流が活発となった。 <input type="checkbox"/> 3. 世界的にレベルの高い研究環境が評価され、海外からの研究者の応募が急増した。
④学内外貢献	<p>以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。</p> <input type="checkbox"/> 1. 学内規定の策定・改定につき、学内幹部(学長、理事クラス)への提言を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。 <input type="checkbox"/> 3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
⑤その他	
業務遂行能力指標	
以下の条件の能力を有する。	

<p><b>①事業</b></p> <p><input type="checkbox"/>1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>2. 担当業務に関連する主要なプロジェクトの方針(ポリシー)を理解している。</p>
<p><b>②知識</b></p> <p><input type="checkbox"/>1. 当該プロジェクト(または研究拠点)の制度及び政策的位置づけを理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>2. 特定分野の専門知識を有し、関連研究分野に関わる科学技術の概要を理解している。又は、調査し、把握することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>3. 特許出願に関する基礎知識、学内の出願に関する規則を理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>4. 輸出管理に関わる基礎的な知識、遵守する事項(例:外国為替及び外国貿易法)を理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス、科学者・生命倫理、安全衛生、利益相反等)を理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供、秘密保持、知財保護、個人情報保護(匿名化)等)を理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>7. 海外における前記3.～6.に関する基本的な事項を理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>8. 学外(海外も含む)研究者を受け入れる際のスキーム、規定、契約事項等を理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>9. 世界的な研究メガトレンド及び政策動向を理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>10. 所属大学の教務規定、学生受入に関する学内規定、事務手続きの流れ等を理解している。</p>
<p><b>③実務</b></p> <p><input type="checkbox"/>1. 国際的な連携支援業務に関する実務(例:海外関係機関との共同研究に関する調整等)の専門的事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。</p> <p><input type="checkbox"/>3. 外部の機関(特に海外)との交渉、調整等の作業の進め方等を理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>4. 外部の関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ、会議や打合せを効率良く進めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>5. 海外の研究助成制度について情報を集め、研究者に説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>6. 担当省庁と連携の上、内外関係者と調整しながらプロジェクト(または研究拠点)のシステム整備を進めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>7. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し、期日内に業務を終わらせられるよう、内外関係者の協力を得ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>8. 研究者、あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合、関係者に報告・相談し、適切な対処ができる。</p>
<p><b>④語学</b></p> <p><input type="checkbox"/>1. 国際業務に関しては、国際担当部署等の協力を得て、業務の推進に必要な英文内容を理解でき、相手先に伝えるべき情報等を作成することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>2. 海外の担当者、研究者等と直接交渉ができる。</p>
<p><b>⑤対人</b></p> <p><input type="checkbox"/>1. 関係者(例:学内関係者、FA、企業、海外機関、関係省庁等)から円滑に情報収集ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>2. 関係者の説明(例:規則、実施計画等)を理解することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>3. 関係者の信頼を得て、連携し、協働できる。</p> <p><input type="checkbox"/>4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し、対応することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。</p>
<p><b>⑥その他</b></p> <p><input type="checkbox"/>複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。</p>

<b>関連専門業務 ③産学連携支援業務</b>	
<b>業績指標</b>	
以下の条件の実績と経験を有する。	
<b>①責任性</b> <input type="checkbox"/> 主担当として対応した。	
<b>②複雑性</b> 以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 所属大学の研究シーズのデータベースを構築し、分野ごとにアクティビティの高い研究者リストを作成し、融合研究プロジェクト立ち上げの準備を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 所属組織・研究者の意向を受けて、外部資金、プロジェクトやコンソーシアムの立ち上げ等に関する情報を整理し、学外の研究者・関係者に説明を行った。 <input type="checkbox"/> 3. 大学、企業、FA、関連省庁等からキーマンとなるメンバーを招集し、国の技術施策・動向、シーズ・ニーズのマッチング等情報共有を行い、プロジェクトの母体となる産学連携のためのコミュニティ作りを行った。 <input type="checkbox"/> 4. 複数企業との共同研究のための契約等の調整を行い、契約締結につながった。 <input type="checkbox"/> 5. 共同研究先企業の調査やテーマの設定調整を通じて、共同研究の妥当性を評価し、研究者に進言した。 <input type="checkbox"/> 6. 自治体関係者と連携をとり、地方自治体の政策動向等につき、関係企業と情報共有の場を設定した。 <input type="checkbox"/> 7. 海外の地方自治体や産学官連携クラスター等地域レベルの連携を推進し、当該プロジェクトと海外の地方自治体や産学官クラスター間の研究開発動向に関する情報共有を行った。 <input type="checkbox"/> 8. 学内外の関係者の予定を調整し、訪問、又は、会議等を開催することによりプロジェクトやコンソーシアムへの参加交渉を行った。 <input type="checkbox"/> 9. 学外関係者からの問い合わせに対応し、必要に応じて執行部の方針等の確認を行った。 <input type="checkbox"/> 10. 学外関係者との共同研究やプロジェクトへの参加に際して必要な NDA, MTA, 協力協定等の契約事項、方針決定までのスケジュール、研究成果や知財が生じた場合の扱いと予算配分等の確認を行った。 <input type="checkbox"/> 11. プロジェクトの企画について、国、FA との調整を行った。	
<b>③重要性</b> 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 学内外の関係者間との折衝活動の結果、合意形成が進み、対応方針の共有が円滑に進み、調整業務が短縮された。 <input type="checkbox"/> 2. 多くの関係者が関与する企画が建設的に進み、申請の質が向上した。 <input type="checkbox"/> 3. 多数の企業や大学からなるコンソーシアムをベースとした大型プロジェクトを導入した。 <input type="checkbox"/> 4. 国や自治体と連携して、産学連携研究棟の設置に際して、共同事業として補助金を交付されることとなった。	
<b>④学内外貢献</b> 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 自治体、企業等と連携・協働し、学外ネットワーク構築に貢献した。 <input type="checkbox"/> 3. 経営者協議会等地域産業会の委員会のオブザーバーとして助言／提言を行った。 <input type="checkbox"/> 4. 自己の業務内容のマニュアル化を行った。	
<b>⑤その他</b>	
<b>業務遂行能力指標</b>	
以下の条件の能力を有する。	
<b>①事業</b> <input type="checkbox"/> 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。 <input type="checkbox"/> 2. 担当業務に関連する主要なプロジェクトの方針(ポリシー)を理解している。 <input type="checkbox"/> 3. 相手方担当者の業務を理解し、両者の業務の位置づけ、重要性を共有できる。	

## ②知識

- 1. 外部資金申請の枠組みの流れ, 公募情報源, 外部資金による事業の背景(科学技術政策, 省庁・総合科学技術会議等の審議会・委員会情報等)を理解している。
- 2. 公募要領等に記載される外部資金に関わる遵守すべき法律(例:補助金適正化法), 規則, 契約内容等を理解している。
- 3. 特定分野の専門知識を有し, 研究プロジェクトに関わる科学技術の概要を理解している。又は, 調査し, 把握することができる。
- 4. プロジェクトに関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向を概略理解している。又は, 調査し, 把握することができる。
- 5. 研究の適正な実施に関する諸規定等(コンプライアンス, 科学者・生命倫理, 安全衛生, 利益相反等)を理解している。
- 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供, 秘密保持, 知財保護, 個人情報保護(匿名化)等)を理解している。
- 7. 学外研究者を受け入れる際のスキーム, 規定, 契約事項等を理解している。
- 8. 国や自治体の政策動向を理解している。

## ③実務

- 1. 企業との連携支援業務に関する実務(例:企業との組織的連携, 産学官連携コンソーシアム, 地域振興を含めた地域産業界との連携等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 企業との交渉, 調整等の作業の進め方等を理解している。
- 4. 企業ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ, 会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 共同研究申請企業の評価・業績等について, ある程度の見極めができる。
- 6. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 7. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上級URAや関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。

## ④語学

- 1. 関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。
- 2. 各種問い合わせや連携交渉について, メールでやり取りができる。

## ⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

## ⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

<b>関連専門業務 ④知財関連業務</b>	
<b>業績指標</b>	
以下の条件の実績と経験を有する。	
<b>①責任性</b> <input type="checkbox"/> 主担当として対応した。	
<b>②複雑性</b> 以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. プロジェクトとしての知財ポリシーを PL や FA と協議の上取りまとめた。 <input type="checkbox"/> 2. 学内関連部署(本部知財部, 法務部等)と連携してプロジェクト参加企業との間で, 共同研究に伴う知的財産権の取り扱いに関して個別に調整・交渉を行い, 最終的に全ての企業との間で知財ポリシーに則った契約を締結することができた。 <input type="checkbox"/> 3. プロジェクト内の出願特許に関する審議機関である発明委員会設置に向け, 役割の定義, 会則の制定, 委員・オブザーバーの選定等準備に貢献し, 設置後は事務局として円満に委員会運営を担当した。 <input type="checkbox"/> 4. プロジェクト内で必要な NDA, MTA 等の契約事項の取決めを PL と協議の上策定し, その後メンバー間で調整・交渉し, 契約を締結することができた。 <input type="checkbox"/> 5. プロジェクト成果である特許, 論文, 学会発表, 講演等に関する管理システムを構築・運用することにより,アウトリーチ活動や各種報告書作成業務に適宜活用することができた。 <input type="checkbox"/> 6. プロジェクト成果の発表や, 他人の著作物の扱いに際して, 著作権に関する助言・交渉等を行った。	
<b>③重要性</b> 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 複数の企業と複数の大学や公的研究機関からなる大型プロジェクトの立ち上げ時において, 知財を含む秘密情報に関する各種契約が滞りなく締結され, プロジェクトをスムーズに開始することができた。 <input type="checkbox"/> 2. プロジェクトで発生した発明に関して種々の取決めや発明委員会の運用により, 公開性・公平性が担保され, プロジェクト成果として多数の特許出願がなされた。 <input type="checkbox"/> 3. プロジェクト開始時に秘密情報の取り扱いを明確化し, メンバー間で十分なコンセンサスを得たことにより, 定例会議や情報交換会での議論が活発化し, それが新技術の発見や特許出願につながった。	
<b>④学内外貢献</b> 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。	
<b>⑤その他</b>	
<b>業務遂行能力指標</b>	
以下の条件の能力を有する。	
<b>①事業</b> <input type="checkbox"/> 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており, 関係者に説明できる。 <input type="checkbox"/> 2. 担当業務に関連する主要なプロジェクトの方針(ポリシー)を理解している。 <input type="checkbox"/> 3. 相手方担当者の業務を理解し, 両者の業務の位置づけ, 重要性を共有できる。	
<b>②知識</b> <input type="checkbox"/> 1. 当該プロジェクト制度及びその政策的位置づけを理解している。 <input type="checkbox"/> 2. プロジェクトの科学的・技術的位置づけを理解している。 <input type="checkbox"/> 3. プロジェクトに関連する科学技術の基礎的な事項を理解することができる。 <input type="checkbox"/> 4. 特許出願に関する基礎知識, 学内の出願に関する規則を理解している。 <input type="checkbox"/> 5. プロジェクトの当該分野について, 研究コミュニティの通念・慣例等(学会, 成果発表, 人事等に係る)を理解している。 <input type="checkbox"/> 6. 研究成果に係る取り扱い事項(材料提供, 秘密保持, 知財保護, 個人情報保護(匿名化)等)を理解している。	



### ③実務

- 1. 知財関連業務に関する実務(例:知財の発明範囲の確定, 特許明細書の検討・作成, 企業と共同出願する際の調整・交渉等)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 外部の機関との交渉, 調整等の作業の進め方等を理解している。
- 4. 外部の関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して資料作成や説明を行うことができ, 会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上司や関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。

### ④語学

- 1. 関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。
- 2. 各種問い合わせに対してメールでやり取りができる。

### ⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 企業)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

### ⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。